

アスナル金山「明日なる！広場」でのイベント実施に係る
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

令和2年9月11日
公益財団法人名古屋まちづくり公社
事業部 金山事業課

本ガイドラインは、ステージを伴う屋外のイベントスペース（「明日なる！広場」）を有するアスナル金山でのイベント実施に向けて、新型コロナウイルス感染予防対策として実施すべき基本的事項を整理したものです。イベント主催者におかれましては、当面の間、本ガイドラインに準じたイベント企画・実施をお願いいたします。本ガイドラインの内容は、今後、国や愛知県、名古屋市の方針に変更があった場合には必要に応じて適宜改訂を行うものとします。

1. 使用制限

・当面の間、不特定多数の方の来場が見込まれるイベントや、高齢者や持病のある方が多数来場するイベント、大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が想定されるようなイベントの使用を中止します。

（例）

—吹奏楽等の演奏会、ダンスパフォーマンス等

—アーティストによるCDリリースイベント、その他ステージでの歌唱を伴うイベント等

・ただし、来場者やイベント関係者の氏名、緊急連絡先を把握し、感染者が発生した場合に保健所等への情報提供が可能な状況にある場合は、本ガイドライン「3. イベント主催者及び従事者が講ずる対策」の対策を講じることを条件に使用を許可します。

2. イベント申込に際しての注意事項

・イベントスペースの使用申請時に提出いただく企画書等に、主催者が講ずる新型コロナウイルス感染防止対策を具体的に記載してください。

・実際のイベント時の対策が記載内容と異なることが判明したときは、使用開始の前後を問わず使用許可を取消すことがあります。

・使用を許可した場合であっても、国等から新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が発せられたときは、使用を中止することがあります。

3. イベント主催者及び従事者が講ずる対策

(1) 企画検討

- ・明日なる！広場はイベント実施時であるかどうかを問わず、多くのお客様が通行される広場です。イベントに参加されるお客様の観覧エリアと一般のお客様の通行されるエリアを明確に区分したレイアウトを作成してください。
- ・観覧エリア内は事前応募制とし、当選された観覧者のみが観覧するイベントとなるような工夫をしてください。
- ・イベントの企画にあたり、密集を回避する方策や工夫を検討してください。

(例)

- 観覧エリア入場時のチケット確認（もぎり）を簡略化する。
- 社会的距離（2m 目安）を確保した入場待機列を設ける。
- 観覧エリア内の入場制限（200 人以下、かつ社会的距離（2m 目安）の確保）を行う。
- ・密集状況が発生しないように余裕を持ったスケジュールを設定してください。

(2) 来場者への周知・案内

来場者に対し、掲示又はアナウンス等により次の周知・案内をしてください。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒の励行
- ・社会的距離（2m 目安）の確保
- ・来場前の検温の実施
- ・発熱（37.5℃以上）、風邪等の症状がある方は参加しないこと
- ・氏名及び緊急連絡先の徴取への協力
- ・聴取した情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されうること
- ・来場時の検温への協力
- ・感染拡大防止対策の一環として国が普及を進めている新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA。以下「接触確認アプリ」という。）の活用

(3) 場内の感染防止策

- ・接触感染や飛沫感染の防止のため、消毒液の設置、マスク着用などの予防措置を講じてください。
- ・非接触型体温計の活用や体温等健康状態の申告等により、来場者の健康状態の把握に努めてください。
- ・来場者から感染者が発生した場合に保健所等へ提供するため、来場者の氏名及び緊急連絡先の徴取に努めてください。
- ・来場者に対して、接触確認アプリをインストールするよう促してください。
- ・場内における会話、来場者同士又はスタッフとの接触は極力控えるよう周知してください。

- ・チラシ等の手渡しによる配布は避けるようにしてください。
- ・プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼び掛けてください。
- ・座席は、左右原則 2m 空けて、前後も重ならないよう配置してください。また、座席の最前列は出演者から十分な距離（2m 目安）をあけてください。
- ・来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- ・出待ちや面会等は控えるよう呼び掛けてください。

（４）スタッフ等の感染防止策

- ・イベント運営に必要な最小限度の人数にしてください。
- ・マスクを着用し、手指消毒を徹底してください。
- ・各自検温を行い、37.5℃以上の発熱、風邪等の症状がある場合は従事させないでください。
- ・出演者及びスタッフの間隔は極力 2m 空けてください。
- ・ユニフォームや身に着けているものは、こまめに洗濯・消毒してください。
- ・イベント関係者の氏名、緊急連絡先及び勤務状況を把握してください。
- ・また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公共機関へ提供されうることを事前に周知してください。
- ・イベント関係者に対して、接触確認アプリをインストールするよう促してください。
- ・本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針の周知徹底を図ってください。
- ・機材、備品、用具等の消毒を行ってください。
- ・公社が貸与する音響機器は、貸出時と返却時に消毒を行ってください。特にマイクは複数人の使用を避け、やむを得ず共用するときはこまめに消毒してください。
- ・会場設営、リハーサル及び撤去は十分な時間を設定してください。
- ・控室を使用する場合、換気、テーブル・椅子等の消毒を定期的に行ってください。

（５）感染が疑われる方が発生した場合の対応

- ・速やかに公社に連絡し、指示により別室等への隔離を行ってください。
- ・対応するスタッフは、マスクや手袋を着用してください。
- ・医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

（６）CD 等の物販を行う場合の対応

- ・現金の取扱をできるだけ減らすため、キャッシュレス決済を推奨します。
- ・現金を取り扱う場合は、レジにおいてコイントレーを使用して受渡を行ってください。
- ・物販窓口の行列では、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫するようにしてください。
- ・物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底してください。

- ・ユニフォームや身に着けているものは、こまめに洗濯・消毒してください。
- ・対面での販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽するよう努めてください。
- ・多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱わないようにしてください。

(7) その他

- ・開催したイベントごとに、来場者及びイベント関係者の氏名及び緊急連絡先の名簿を作成し、保存するよう努めてください。
- ・感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。
- ・なお、個人情報の保護の観点から、来場者の氏名及び緊急連絡先の保管には十分な対策を講ずるよう努めてください。

以上